島原市市勢振興計画審議会「部会」 審議概要

令和元年8月21日（水）

9：00～12：00（都市部会）

13：30～16：30（産業部会）

8月22日（木）

9：00～12：00（教育・行政部会）

13：30～16：30（福祉保健部会）

雲仙復興事務所2階会議室

委員24名中22名出席

次 第

1. 前期基本計画策定に向けた関係課へのヒアリング

概 要

○資料に沿って関係課から説明が行われた後、審議が行われた。

（委員からの意見（抜粋））

都市部会

- ・時代のイメージや地域に合った景観も大事だと思う。
- ・情報格差について、高齢者に慣れてもらうことも大事。高齢者向けに各種講座でタブレットを使用するなど、簡単なところから取り組んでいくのもいいと思う。
- ・移住して来ても、定住につながらず帰ってしまうケースもある。提供する情報を充実させ、移住者へのケアも行いながら定住につながることを重要と思う。

産業部会

- ・就労支援メニューについては、他自治体に比べて何かに特化したメニューであったり、これだけは手厚いといった濃淡をつけると人目につきやすい。
- ・大学生では、処遇面よりも経営者の魅力や企業の実力を重視する傾向が増えている。Jターンで魅力ある中小企業に比較的低い給料でも行っている。6割くらいは高い給料や処遇を求めているが、4割は社会貢献や自己実現、やりがいを重視しているというデータもある。魅力ある企業が育っていくことも必要かなと思う。
- ・島原市では販売面が弱いと思う。ほとんど市外に出荷されていて、市内での需要が少ないのかなと思う。地産地消の視点も持つことで、地域でお金が回り雇用にもつながる。

教育・行政部会

- ・社会教育活動へ参加していただいて、地域に誇りを持ってもらいたい。
- ・例えば、市外から転勤等で来た方々に、スポーツ活動の情報発信を充実させることでつな

がりが広がる。

- ・町内会の人手不足は深刻であり、少ない人数の中でも役割分担を協力し合う必要がある。役割を分散できるようなアイデアが必要ではないか。
- ・男女共同参画について、女性の権利擁護を意識しすぎることはどうかと思う。女性の方が社会へのアピールが上手い世代もある。
- ・国によって文化が違う中で、異文化の人たちが住みやすい環境が必要になってくると思う。
- ・観光客の方々からすると、市の行政区域は意識しないと思うので、島原半島全体として連携は大切。

福祉保健部会

- ・市内の小児科は混んでいるから、かかりつけ病院を市外に求めてしまう例もある。医療情報の情報発信も充実させてほしい。市の情報発信について、市民も入手しないといけないと思うが、受動的になってしまう。広報誌やHP だけでいいのか検討の余地があると思う。
- ・親支援の講座について、参加者からはよかったとの声を聞いたことあるので、より多くの方が参加できて内容もさらに充実させた講座を希望する。
- ・出会い、結婚は全市民に該当するわけではないが、人口減少・少子化の中では大事なことだと思う。

以 上